

国柄探訪

平成24年10月14日付け

メール
マガジン
国際派日本人養成講座

日本文化は日本人だけのものではない

「日本人は、日本文化を外国人には理解できないものと、信じたいのではないか」

1. 「それはまさに、私に

とつての喜びの瞬間だつた

今年9歳になる米国出身の日本文学研究家下ナルド・キーンさんは東日本大震災を契機に、日本国籍を取得し、日本定居を決意した。日本文化に関する著作は、日本語で書かれたものだけですでに30点もある。そのキーンさんがこんな経験を記している。

数日前、私は十年前たつたら起きたなかつたよう

にとつての喜びの瞬間だつた。

その婦人は私の外見におかまいなしに、私が駅の場所を知っていると判断したのだつた。あるいは私

がいかにも聰明そうな人間に見えて、私が日本人で

あるかどうか、よく考へなかつたのかもしれない。

蘭学者の長い闘いは、ついに実を結んだ。「1、p

332】

アメリカやヨーロッパの大都市を歩いていると

現地の人道を聞かれるのはしょっちゅうだ。パリ

でフランス人にフランス語で道を聞かれたり、ミラ

ノでイタリア人にイタリア語で道を聞かれたりす

る。現地人の雑踏の中なのに、なぜわざわざ東洋人

の顔をした当方に聞くのだろうか、不可思議でなら

ない。日本で外人に道を聞くことは、今でも私には

考えられない。

【蘭学者】 キーンさんは、まさにそんな迷信と

戦つてきたのである。

2. 「刺し身は食べられ

ますか？」

2. 「刺し身は食べられ

ますか？」

3. 「自分たちだけが

特別だという確信

4. 「源氏物語」に心を奪

われてしまつた

5. 「貴族・プチブル的

腐敗した西欧人

6. 「曾根崎心中」の

道行

7. ヨーロッパに大きな影響

を与えた江戸時代の美術品

8. 一つの民族がその

ドナルド・キーンさんの歩いた道

「日本人は、日本文化を外国人には理解でき

ないものと、信じたいのではないか」

【ドナルド・キーンさん】

住友ゴムがパラナで生産開始

アジア圏外初の工場設置

池田社長ほか4百人が祝う

住友ゴムの中南米初の工場が遂に稼働。パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市に建設していた住友ゴム工業の中南米初の工場が完成し、今月3日から日本から池田育嗣社長(香川)を迎えて、盛大に開所式が行われた。

日本、タイ、中国、インドネシアに工場を持ち、今回アジア圏外で初の工場設置となった。総投資額は7億50万平方メートルの敷地内に建設された工場の面積は、8万4565平方メートル。2012年1月27日に建設が完成され、今年の4月に生産を開始する。

今年末までに日当たり2千本のタイヤ生産、2

015年末までに日当たり1万5千本の生産を見込む。タイヤは日本と同様品質に加えて、伯国(アルゼンチン)の道路事情を考慮した。

久系人が工場の立ち上げに用を見込んでいる。

式典にはペット・リツ

ンドー市長、西森ルイスト

院議員、内山美生在クリ

チバ総領事ら関係者約

400人が出席し、工場

の稼働開始が祝われた。

兵庫県知事が出席し、楠

戸敏三知事のスマセージ

を代読し、両国の発展を期待した。

池田社長は「工場の設

置には姉妹提携のある兵

庫県、パラナ州から格別

な支援があった」と感謝

を示し、「グローバル

戦略において極めて重要

た。ブラジルではないと笑顔を見せた。

店内は人で溢れた。

アンジェロ・セザーリ

オさん(27)は、日本

の三世の妻に嫁まれ、机の

中の仕切りを購入した。

「消費者のニーズをよく

考えた商品ばかり。種類

も豊富だし、また来た

い」と語る。

午前10時の開店前か

なつた。午後10時開店後

が多かった。

同社によれば、現在少

なく、商品数は約3

取り扱い商品数は約3

だ。ISO2号店を開店した。

ISO2号店を開店した。

